

GALLERY
うつわノート

五十嵐裕貴 木工展 朽ち黒
2017年6月10日(土) ~ 18日(日) 会期中無休



料金後納
ゆうメール

五十嵐裕貴 木工展 朽ち黒
2017年6月10日(土)～18日(日) 会期中無休
営業時間 11時～18時 作家在廊日 6月10日(土)・11日(日)

長野県の標高の高い村にある古民家で暮らす五十嵐裕貴さん。弊社2回目となる個展です。五十嵐さんの木の器づくりは通常のセオリーから外れています。

まず材料選び。通常は木材の欠点とされる入り皮、抜け節、割れ、腐食を敢えて取り入れ、見所として活かしています。それは木の成長過程で刻まれた生命の闘いの痕跡。不完全な欠損を美しさとする五十嵐さんの心情です。

次に木工旋盤(木工ろくろ)の加工方法。通常、木工旋盤はテーブルの脚や皿・鉢・椀など回転体の整った形づくりに用いられますが、五十嵐さんの旋盤は、有機的で不定形なシルエットで仕上がっています。動的な線と共に、木の穴、割れを含み、一般的な旋盤技術とは異なる方法です。土のろくろの様な線を出したい。その言葉通り、五十嵐さんの身体的なりズムがそのまま形になるのです。

光のあたる真っ直ぐな美しさとは異なる、退廃的で朽ちゆくものから受ける鋭敏な美意識もあるでしょう。寂寥の中に美の自覚を重ねるのは、まさに日本的な感受性です。

今回も昨年と同様に大きな黒色の木器を代表に、壺・花器・盤、そして実用的な皿・盆・鉢・椀・茶入れをご覧ください。どう進化したのか。いやむしろどう退行したのか、五十嵐さんの2年目のお仕事をご覧ください。店主

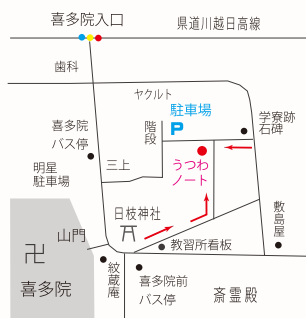


五十嵐裕貴プロフィール

- 1984年 千葉県茂原市生まれ
- 2008年 東京の職業訓練校にて木工を学ぶ
- 2009年 岐阜県の家具メーカーにて家具を作る
- 2010年 埼玉県川口市の家具工場にて家具を作る
- 2010年 埼玉県川口市にて独立
- 2014年 長野県南牧村に移住し、工房を構える
- 2017年 現在、同地にて製作

ギャラリー うつわノート

埼玉県川越市小仙波町1-7-6
TEL 049-298-8715
MAIL utsuwanote@gmail.com



電車：川越駅(東武東上線・JR)より徒歩25分
本川越駅(西武新宿線)より徒歩20分
バス：駅東口3番乗場 [小江戸名所めぐり]～[喜多院前]
駅西口2番乗場 [小江戸巡回バス]～[喜多院]
車：ギャラリー専用の新駐車場は北側(5～8番)

